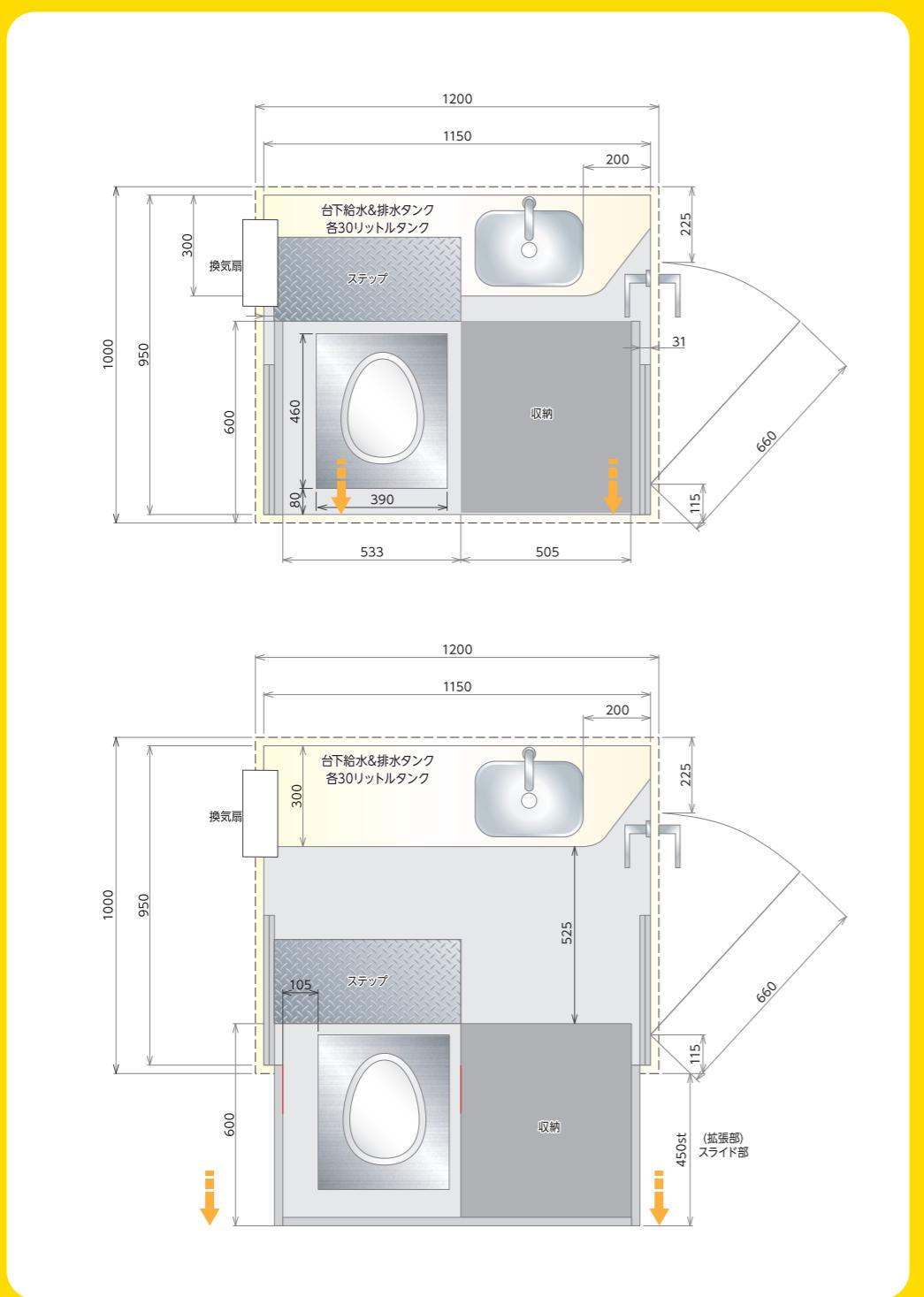


DRAWING



Wrappon とは
ボタン1つで自動処理、
どこでも快適なトイレ

1回ごとに密封個包装
熱圧着で密封するため中身が漏れません。

ボタン1つで自動排泄処理
パケツを洗うことも手を汚すことありません。

防臭袋「BOS」を使用
臭いも菌も通さない高機能フィルムです。

持ち運べる
重さ12kgと軽くて丈夫なアルミボディ。

3種類の電源接続方法
AC/DC両方の電源が使えます。

お手入れも簡単
本体も便座もアルコール・次亜塩素酸で消毒OK。
排泄物に手を触れないで二次感染の予防に繋がります。



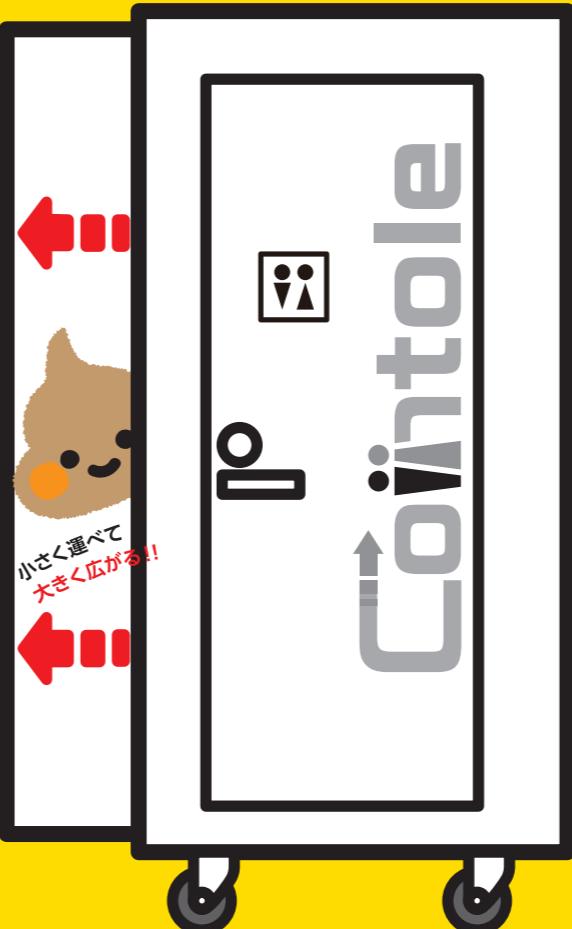
株式会社 **MITOMO**
MANUFACTURING INDUSTRY

〒750-0074
山口県下関市彦島本村町七丁目1番19号(本社)
TEL:083-227-4631 FAX:083-227-4632

災害時や野営・キャンプなどのアウトドアにも

どこでも快適
移動式トイレ

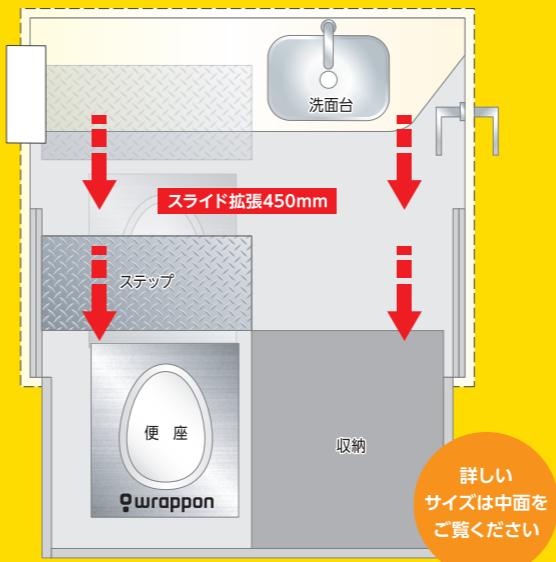
コントレ
Cointole



コントレとは

ラップ式簡易トイレを設置した移動可能なトイレの略称です。
小さく持ち運べ、設置場所で大きく拡張することで様々な用途にご利用になれます。
熱圧着で1回ごとに密封個包装し中身が漏れないラップポンを使用。通常の簡易トイレと比べ衛生面にも優れており、いつも綺麗な状態でご利用いただけます。

どこでも簡単拡張機能!!



▲ 熱圧着で1回ごとに密封個包装し中身が漏れない為、匂いもなく、手を触れないで衛生面も安心。1箇所に集まつた使用済みのラップポンを外より回収するだけ!

◀ 移動時は小さくコンパクトに、利用時は拡張することで広く快適に!洗面台もついているので安心してお使いいただけます。

*写真は開発中のサンプルです。

トイレの個数(目安)

市町村は、過去の災害における仮設トイレの設置状況や国連等における基準を踏まえ、下記項目を一つの目安として、備蓄や災害時用トイレの確保計画を作成することが望ましい。

- 災害発生当初は、避難者約50人当たり1基

- その後、避難が長期化する場合には、約20人当たり1基

- トイレの平均的な使用回数は、1日5回

トイレの個数については、施設のトイレの個室(洋式便器で携帯トイレを使用)と災害用トイレを合わせた数として算出する。

また、バリアフリートイレは、上記の個数に含めず、避難者の人数やニーズに合わせて確保することが望ましい。

ただし、これらは目安であり、避難所におけるトイレの個数については、避難者の状況や被害の程度等により必要となる個数が異なる。各避難所では、トイレの待ち時間に留意し、避難者数(男女毎も含む)に見合ったトイレの個数と処理・貯留能力を確保することが重要である。

災害用トイレ一覧

携帯トイレ	断水や排水不可となった洋式便器等に設置して使用する便袋(し尿をためるための袋)を指します。	マンホールトイ (鉄蓋)	マンホールに設置された鉄蓋のうち、緊急時にマンホールトイ レとして使用できる鉄蓋のことを指します。
簡易トイレ	し尿を単に溜めるタイプ、し尿を分離して溜めるタイプ、電力を必要とするタイプがあります。	マンホールトイ (下部構造)	地上部の上屋、便器・便座に対し、鉄蓋を境にした地下部分を指します。
仮設トイレ (ボックス型)	建設現場やイベント等のトイレとして開発されたトイレです。	自己処理型 トイ レ	し尿処理装置がトイレ自体に備わっているトイレです。
仮設トイレ (組立型)	トイレ室と便器が一体になり、災害時に組み立てる製品を指します。	車載トイ レ	車に搭載され、し尿を貯留するタイプや処理装置を備えたタイプがあります。
マンホールトイ (上屋)	マンホールの上に設置するパネル型、テント型などのトイレ室のことを指します。	災害対応型便器	平常時は通常の水洗トイレとして使用し、断水時等には貯留型(くみ取り式)トイレとして使用できる便器を指します。
マンホールトイ (便器・便座)	マンホールトイ レ鉄蓋の上に設置する和式や洋式の便器・便座を指します。	災害対応型 常設トイ レ	災害時にもトイレ機能を継続させるため、災害用トイレを備えた常設型の水洗トイレのことを指します。

衛生管理に必要な備品の例

災害時に衛生面に配慮した継続的な清掃を行うために、最低限必要な備品等を速やかに確保できるよう、平時から備蓄に努めるとともに、トイレの使い方、手洗いの方法、清掃の方法等を周知するための手段についてあらかじめ準備しておく必要がある。

区分	準備品
コントレ必需品	600Wポータブル電源 2個 100Wソーラーパネル 1個 ラップポン フィルムロール(1巻50回分)8セット ラップポン カタメルポリマー(1セット50回分)8セット
必需品	トイレットペーパー(ビニール包装が望ましい) 生理用品 ペーパー分別ボックス/サニタリーボックス (段ボール製の場合は、床面からの水を防ぐための防護策が必要)
衛生	手洗い用水・石鹼(手洗い水がある場合) ウエットティッシュ(手洗い水がない場合) 手指消毒用アルコール(手洗い水がない場合) ペーパータオル(手洗い用)
清掃する人が着用するもの	ゴム手袋(使い捨て) マスク(使い捨て) トイレ清掃用の作業着

区分	準備品
清掃用具	清掃用水(清掃用と消毒用) トイレ清掃用のバケツ(消毒水用、モップ洗浄用) 消毒水作成用の塩素系漂白剤(キッチン用で良い) ビニール袋(ごみ袋用、清掃道具持ち運び用) トイレ清掃用ホウキ、チリトリ トイレ清掃用雑巾(多用途に使用するため複数用意) ブラシ(床用、便器用) トイレ用洗剤(災害用トイレには中性洗剤) モップ ペーパータオル(掃除用)
トイレ関連備品	トイレ専用の履物(室内のトイレに限る) トイレの使用ルールを掲示 手洗い・消毒の方法を掲示 消臭剤 消毒マット(室内との下足履きの境界) 汚物用ビニール袋、汚物用脱臭剤 トイレ用防虫剤

トイレ確保のための具体的な取り組み

災害時の避難所のトイレを、どのような組み合わせで選択するか、ライフラインの状況、設置場所に加えて、災害発生からの時間の経過、使用者の事情、避難所の設置等の条件により、適したものを選ぶべきである。
例えば、以下のようなケースを想定すると、時間の経過に応じたそれぞれのトイレの使用が考えられる。

トイレの組み合わせモデルケース(大規模地震発生時の避難所の場合)

モデルとなる避難所の条件等

携帯トイレ(最大避難者数の3日分)、簡易トイレ(組立式)5セット備蓄あり。マンホールトイ
レ5基(プール水確保)整備済み。

	避難所の状況	使用できるトイレの例
発生直後 ～3日	上水道は断水中。下水道は施設の点検が終わるまでは、使用しないルール。(流通も麻痺状態)	既設トイレの個室(便座)を活用、携帯トイレ・簡易トイレ(組立式) ●発災当初は避難者数が多いので、とにかく便器の数を確保する。 ●避難者想定数の3日間は備蓄した便袋を使用した。 ●使用済みの便袋は、体育馆裏の軒下に保管することとした。
1週間後	上水道は断水中。下水処理場に被害があつたが、マンホールトイ レは使用許可がおりる。 近隣市町から、バキューム車数台を確保する。	上記にプラスして、マンホールトイ レ、仮設トイレ(組立式)1基届いた。 ●汲み取りのタイミングを設置した仮設トイレの、便槽の容量・ 使用人数から換算する。 ●避難所のマンホールトイ レが使えるようになると、トイレを使用するために、在宅避難者が増加した。
2週間後	流通が復旧し、仮設トイレが届く。 上水道は部分的に復旧したが、避難所は断水中。広域でのし尿処理体制が確保される。	上記にプラスして仮設トイレ ●仮設トイレが確保できたので、携帯トイレの使用数を減らす。 ●合わせて外灯を設置したが、雨の日に傘がないとトイレに行けないのが不便である。
1ヶ月後	上水道、下水道の復旧が完了し全面使用可能となる。	●上下水道の復旧により、水洗トイレが使用可能になったため、 簡易トイレは全て撤去した。しかし、避難者は大勢いるため、 仮設トイレは引き続き使用する。 ●復旧により、在宅避難者がトイレを使いに来なくなったため、 仮設トイレ数を大幅に減らすことができた。

出典:内閣府 防災情報のページ みんなで減災 日本トイレ研究所 災害用トイレガイド

